

2024年1月8日

2024年 社長年頭挨拶要旨(社員向け)

社長 漆畑 憲一

2024年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春を迎え、皆さんと新年の挨拶を交わすことができますことを大変嬉しく思います。また、昨年も、多大な苦勞とたゆまぬ努力によって事業を継続頂いていることにあらためて感謝致します。

2024年の仕事始めに際して、本年度は当社の2030ビジョン（30V）・中期経営計画2025（25M）の初年度であることから、中長期の基本的な経営理念についてお伝えしたいと思います。

2019年から続いた新型コロナウイルスによる行動制限の影響はようやく収束しました。私たちの価値観や働き方に大きな影響を及ぼしましたが、ようやくグローバルな人材や技術の交流が徐々に戻ってきました。また、部品供給不足も緩和する方向にあり徐々に世界の自動車販売台数は回復しつつあります。それに伴い、会社業績についても2023年度は当初の計画に達しており回復基調にあります。しかしながら一方で、中国では中国新興EV OEMの参入により、政府当局のEV車販売促進政策も相まって日本車離れが急速に進んでおり、当社においてもさらなる対応が迫られています。

また、モビリティ業界は100年に一度の変革期を迎え、モビリティの多様化やモノづくりの根本が変わるとされており、当社もその変革に追随していかなければなりません。

その様な中、日系のお客様だけでなく、海外系のお客様のトップに当社をご訪問いただき、最新の研究開発の動向をご視察いただく機会が多くなってきており、ハーネストップシェアである当社に対するお客様からの期待の高さを感じています。

そして、33の国と地域109社で25万人の仲間が働いている当社グループの社会的役割は大きく、地域からの要請に応え持続的な成長を遂げていかなければなりません。

このように不確実性の高い時代だからこそ、当社がこれまで培ってきた理念や技術の柱をぶらさずに、弊社の強みと可能性を皆さんとあらためて再認識し、これからの更なる挑戦の礎としていきたいという想いから、30V・25Mのもとになる「経営理念」をあらたに制定いたします。

本日は、その中でも最上位にあり、私たち当社グループの「存在価値」を示す「パーパス」をお伝えします。

新たに制定する、当社グループの「存在価値／パーパス」は、

「ハーネス技術を深化させ、モビリティ社会のなくてはならないパートナーであり続ける」です。

この中に込めている想いを3点お話しします。

(1) ハーネス技術を深化させる

1点目は、「ハーネス技術を深化させる」ということです。モノづくりの会社として、ワイヤーハーネスや電線・コネクタ・エレクトロニクスなどのこれまでに蓄積してきた技術を元に、世界の技術変革や、社会／お客様からの期待に向

き合い、期待を越えて追及し発展していくことが求められています。そのためにも組織の壁を越えて人材が交流し技術と知見をグローバルに融合させていかなければなりません。

(2) モビリティ社会全体へ貢献していく

2点目は、私たちは「モビリティ社会全体へ貢献していく」ということです。モビリティそのものが多様化し変わろうとしている今、お客様であるカーメーカーはもとより、クルマの利用者やサプライヤーなどあらゆるステークホルダーと、それを取り巻く社会全体へと、私たちが貢献できる領域は確実に広がっています。私たちは、私たちの製品を自信と自負をもってモビリティ社会へ届けていきましょう。

(3) なくてはならないパートナーであり続ける

3点目は、これまでにお伝えし続けている「なくてはならないパートナーであり続ける」ことです。モビリティの発展をパートナーとして支えることを通して、快適で安全な持続的社会的の実現に貢献していきたいと考えます。そのことを通してさらに社会やお客様から厚い信頼を獲得し、頼られ、任せられるパートナーとなることを願っています。

以上3点をお伝えしました。繰り返しになりますが私たちは大きな変化に直面しています。これまでの経験を踏まえつつも新たな価値を創造していくことが求められています。判断に迷うこともあるでしょう。そのような際にでもグループ25万人の仲間がこの「存在価値／パーパス」を軸にして同じ方向へ向かって希望を持ち、一緒に取り組んでいきたいと考えます。

最後に、「健康・安全・品質・コンプライアンス」に関して本年も継続した取り組みをお願いします。そのいずれもが製造業である当社の根幹であり、そのうちの一つでも欠けてしまえば持続的な成長は成しえません。一人ひとりが新年の始まりに際しその重要性を再認識いただき、職場全体で遵守いただくようお願いいたします。

以上、新年にあたり皆さんにお伝えしたいことを申し上げました。新年も厳しい局面が続きますが、次の100年に向けて大きく成長するきっかけ（契機）としてとらえ、皆さんと一緒に明るく元気に業務を進めて参りましょう。

本年も皆さんとご家族が健やかに、素晴らしい年を過ごされますことを祈念し、年頭の挨拶といたします。

以上